生涯教育研修会報告書

学発番号 第 12-010 号

平成 25 年 1 月 30 日報告

報告者：林 雅弘

所属：相馬病院 臨床検査科

連絡先：075-463-4301

行事名：STI 予防啓発事業「心を育てる性教育」

日時：平成 24 年 12 月 12（水）13 時～15 時

場所：京都保健衛生専門学校

内容：講演

分類：基礎—公益活動 20 点

参加者：会員 8 名 学生 39 名

12 月 1 日の世界エイズデーにあわせて、毎年開催しているエイズ・S T I 予防啓発事業ですが、今年は青少年を対象を絞れるよう学生対象の講演会形式として開催しました。

対象は京都保健衛生専門学校臨床検査学科の学生さんで、講師は「心を育てる性教育」研究会代表である深田實江子先生にお願いしました。

講演内容は、初めに、HIV 感染症・AIDS とはどのような疾患なのか、どのような感染経路で伝播していくのかといった疫学的な話や AIDS に感染することで「生き方」・「性に対する価値観」といったものがかわっているという話がありました。

そして、現代における日本での多い感染経路は 1. 性感染（約 90～95%）2. 血液感染（我々医療従事者が一番感染しうる経路）3. 母子感染（産道感染・母乳感染 今では感染患者における分娩では帝王切開を行うことでほぼ 0%）であることを話され、最も多く、思春期と深く関係のある性感染についての話がありました。

思春期は 16 歳から 24 歳ぐらいまでとされており、ちょうど今回講義を受けた学生の年齢に該当するため AIDS とは身近に起こりうる疾患であるということがわかりやすく理解できたと思います。また、性感染症は AIDS だけではなく多くの感染症があることも話しにありました。

今回の講義で“性感染症は恐ろしい”とだけ認識するのではなく、一人一人がきちんとした知識を持って肉体的にも精神的にも成長していけるようにと強く話されていました。

相馬病院 林 雅弘